

平成 17 年度 第 1 回福岡空港調査連絡調整会議幹事会
議事録

1 日時 平成17年10月12日(水)16:00～17:00

2 場所 ホテルレガロ福岡 3階 ローズルーム

3 出席者

国土交通省九州地方整備局港湾空港部長	戸田 和彦
国土交通省大阪航空局飛行場部長	松本 清次
(代理出席 大阪航空局飛行場部次長	梅野 修一)
福岡県企画振興部理事	西村 典明
福岡市総務企画局理事	田代 政範

4 議事

(1) 開会

事務局:定刻となりましたので、ただいまから福岡空港調査連絡調整会議幹事会を開催させていただきます。

本日のご出席でございますが、国土交通省九州地方整備局港湾空港部戸田部長様、同じく国土交通省大阪航空局飛行場部の梅野次長様、松本部長の代理ということでご出席いただいております。それから福岡県企画振興部から西村理事兼空港対策局長、それから福岡市総務企画局田代理事、以上の4名の方にご出席いただいております。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。お手元の資料で順次いきますと、配付資料一覧が1枚ございます。それから式次第、配席図、出席者名簿、それから右上に資料1と書いております「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)実施方針(案)」。それから続きまして資料2、「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」、それから厚い冊子の「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見」でございます。

それから参考ということで、今回意見をいただきましたけれども、その際用の紙を参考までに配付させていただきます。以上が本日の配付資料でございます。揃っておりますでしょうか。

それからマスコミの皆様をお願いでございます。議事進行の関係で、テレビ・カメラ等の取材につきましては冒頭の資料説明までとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは九州地方整備局の戸田部長様に議事の進行をよろしくお願いいたします。

戸田部長:九州地方整備局の戸田でございます。よろしくお願いいたします。それでは早速、議事に入りたいと思います。

本日の会議におきましては、7月25日より実施しておりましたP I(ステップ1)について市民の方々からお寄せいただいた意見と、それに対する考え方に関するパブリック・コメントの実施について協議を行うこととしております。

本日の議事につきましては、議事次第にありますように「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方に係る意見募集(パブリック・コメント)について」、それと「その他」となっております。それでは、これに従いまして進めさせていただきます。

まず資料1のご説明をお願いいたします。

(2) 議事

「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)について

【資料1「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る意見募集(パブリック・コメント)実施方針(案)】

西村理事:福岡県でございます。それでは資料1につきましてご説明していきたいと思っております。

今回お諮りするのとは2点ありまして、今、戸田部長がご説明したとおりですけれども、そのうちの1つが、7月25日にP Iのステップ1を開始しましてP Iレポートの配布を始めたということでありまして、それで9月16日までを目途に意見募集を始めまして、8月中旬からは見学会ですとか説明会とかオープンハウスとか懇談会とかいろんな催しものを集中的に実施させていただきました。そして意見収集に努めてきたところでございます。

今回、9月26日を区切りとしまして意見を集約いたしまして、後ほどご説明しますが、2ヵ月間で1369名の方から意見用紙を提出していただきました。今回それについてまとめたものを公表いたしまして、再度、ご意見の確認ということでパブリック・コメントを実施したいということでございます。

全体の流れをご説明したいと思いますので、資料1の7ページをご覧くださいと思います。これはP Iのステップ1を始める7月の段階で、全体の流れということでスケジュールを定めたものでございまして、半分から下の「2 実施時期の目安について」ということでありまして、7月から実施していきまして、今は3つ目の「意見収集及び集約」が終わりまして、4つ目の「収集した意見と対応方針の公表、パブリック・コメントの実施」という段階に入ろうということでございます。

1ページに戻っていただきまして、今回まとめましたパブリック・コメントの実施の要領が1ページに渡って書いてあります。趣旨は冒頭のところに書いてございますけれども、今回のパブリック・コメントの趣旨は、いただいたご意見の概要についてまとめましたので、県民の皆様にお知らせするというのが1点でございます。

それから当初のP Iの目標であります「周知が十分になされたか」といったことが達成したかどうかを我々としても確認するという意味で、それについてのご意見を募るということでございます。

具体的な募集の方法につきましては、1から書いてございますけれども、期間は10月

14日、今週の金曜日から2週間ほど、27日の木曜日までパブリック・コメントを実施したいと思います。対象は、寄せられましたご意見とそれに対する考え方ということでございます。

それから、これらのものの公表とか配布等につきましてはその下に書いてございますけれども、福岡空港調査連絡調整会議のホームページがございますので、それに掲示をする。それから国や県、市の情報提供窓口に配置いたします。それから空港にインフォメーションコーナーというのが2階に設けられているのですが、空港でありますとか県の庁舎、市の庁舎にも設置しておりますインフォメーションコーナーでも配布していきたいと思います。それから市町村の窓口にも配置をしまして、配布をしていきたいと思います。

次に2ページを開いていただきますと、これ以降は募集の要領なので細かいことは省略させていただきますけれども、意見の提出方法ですとか案の提供方法といったことが書いてございます。意見の提出方法としましては、パンフレットの最後の部分に返信用ハガキを付けて、それで郵送していただく。あるいはファックスをするなり、メールをするなりということで受け付けていきたいと思っております。

以上が今回のパブリック・コメントの中身でございます。これについては、ホームページに掲示していきたいと思っております。

内容的には、後ほどご説明していきます「福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられた意見とそれに対する考え方」という資料2にあたりますけれども、これについてまとめていきたいと思っております。実施方法としては以上でございます。

戸田部長:ただいま、意見募集の実施についてのご説明がございましたけれども、どういう意見だったのかというのは後ほど議論するとして、形式上の話としてこういうやり方をしたいというご提案があったわけですが、これに関して何かご質問、ご意見等ございましたら、よろしく願います。

(発言者なし)

戸田部長:それでは特段なければ、肝心なのは中身のほうでございますので、続きまして資料2の説明に移らせていただきたいと思いますので、よろしく願います。

【資料2 福岡空港の総合的な調査に係るPI(ステップ1)に寄せられたご意見とそれに対する考え方】

西村理事:それでは資料2についてご説明していきたく思っております。今回いただいた意見や、それに対する考え方を資料2でまとめております。トータル1369名の方から提出用紙を出していただきました。それに説明会等で個別にご意見を頂戴した方がいらっしゃいます。そういうのも含めまして、整理したものでございます。

資料2は冊子になって2つありますけれども、厚いほうが生の意見を全部入れ込んだものでございます。共通するものについて整理し、さらに共通にできる要素ごとに整理しまして、性格的に似通ったものを12のカテゴリーに分類したものでございます。

先ほど1369名の方から用紙を提出していただいたと言いましたけれども、そのうち意

見を提出された方が約 1000 名いらっしゃいます。それに説明会でいただいた意見を含めて分類整理したものでございます。1 人の方が 2 つ以上の意見を出されている、2 つの性格の要素について出されている方もいらっしゃいますので、意見の数としては約 3000 件となっております。それを 1 回こういう厚いものに整理しまして、その中で概要をまとめたのが資料 2 の薄いほうでございます。

厚い冊子につきましては、ホームページにも載せるのですけれども、閲覧用ということで各情報提供窓口とかインフォメーションコーナーに配置をして見ていただくというふうにしたいと思っております。

それでは中身についてご説明いたします。まず、資料 2 の薄いほうをご覧いただきたいと思えます。1 枚めくっていただきまして、「はじめに」のところは概略を書いたものでございます。意見収集の概要とか件数とか今回の意見募集(パブリック・コメント)の趣旨などを整理して書いたものでございます。

それから 1 枚めくっていただきまして右側の 3 ページでございますけれども、今回の P I の概要について、我々がやりました様々な活動についてまとめたものでございます。

簡単にご説明いたしますと、上のほうから周知広報ということで新聞への広告掲載、ラジオのスポット広告、チラシの配布が 6 万 5000 部、それから県や市の広報紙への掲載。県の場合は 200 万部、市の場合には 70 万部ということでやってきております。P I をこういう形でやりますよという周知広報をいたしました。

それから中身の情報提供でございますが、その下の枠に書いてあります。これは事前に決定いただいた中身どおりに実施することができました。まず P I レポートの配布ですが、約 5 万部を色々なところで配布しております。街頭での配布でありますとか、中学校、高校、大学あるいは自治体、あるいは情報センターへの配置といったことで配布をしてきております。

それから催し物といたしましては見学会、当初は 3 回を予定しておりましたけれども、応募が多かったということで 5 回実施しております。それから説明会が 5 箇所、それに懇談会ということでいろんなカテゴリーに分けて出向いて説明しておりますが、これが 13 回。それからオープンハウスが 5 箇所、それにインフォメーションコーナーを加えた催しになっております。この右側の数を足しあげると出ますけれども、こういったものに参加していただいた方は 5000 名弱となっております。

そのほか、ホームページのアクセスとしては、約 8500 ございました。そういった催しものを実施したということでございます。

それから次のページをご覧いただきたいのですけれども、これはお寄せいただいた方々の属性等をアンケートで併せて聞いたものの結果でございます。

4 ページのところでは、下のところに年齢層が出ておまして、見ていただければわかりますけれども、20 代~70 代までの方々から満遍なくご意見を頂戴しているところでございます。

それから概略を飛ばしながらいきますけれども、5 ページでは上の右側で航空機の利用状況をお聞きしております。「0 回」から「数年に 1 回程度」の利用が少ない方が 27%、「年に 2 往復程度」という方が 28%、「2~3 ヶ月に 1 往復」の方が 28%ということで、結果的にはバランスよく意見をいただいたのではないかと考えております。

それから 1 枚めくっていただきまして、一番上の のところであります。「PI レポートは分かり易かったですか」とありますが、これはなるべく分かりやすいレポートを作ろうということで当初からやってきたわけですけれども、そのアンケートの結果としては、「分かり易かった」と「普通」というのを合わせますと 84% ということで、ある程度理解しやすいものになったのではないかと考えております。

それから 7 ページの問 4 ですけれども、「レポートの内容についてどう感じたか」ということでもあります。「とても興味深かった」と「興味深かった」というのを足しあげたところですが、80% 以上の方が「興味深かった」と回答していただいております。ある程度わかりやすい情報を一定程度の方が理解できるような形で情報提供できたのではないかと考えております。

それから次に具体的に記述意見としていただいたものについてのご説明をしたいと思っております。まず意見の仕分けについてですけれども、資料 2 の厚いほうをご覧いただきたいのですが、さっき言いましたように同じような性格の意見については 12 ほどのカテゴリーに集約しまして、整理したものでございます。

4 ページを開いていただきたいのですが、厚いほうの 4 ページです。これがいただいた意見について全体の数を整理したものでございます。大きく 3 つ枠がありますのは、今回、情報提供しましたのが「福岡空港の現状と課題」というのが 1 つであります。もう 1 つが「空港能力の見極め」というものについての情報提供をしまして、違った種類のものを 2 つ提供していますので、ご意見の出し方も 2 つに大きく分けております。それから 3 番目には「その他」の欄を設けておりますので、その他として意見を書かれた方の集計をしております。その他の中には、説明会で発言された場合の意見も入れておりますけれども、そういうものを含めまして大きく 3 つの枠で整理をしております。

そういう 3 つの大きな枠の整理の中で、12 のカテゴリーで種類分けしたものでございまして、12 のカテゴリーの中でも今回、ステップ 1 として提供した情報についての意見については、それぞれのところでステップ 1 と左側に区分として書いてありますけど、その種類で分けています。

それからステップ 2 以降についてのご意見を頂戴したのものについては、「ステップ 2 以降」ということで段を分けて整理しております。

それで 12 のカテゴリーの中で、ステップ 1 の関連として分けられたカテゴリーが 8 つあります。見ていただければわかるのですが、「福岡空港の課題」「安全性」「国際航空ネットワーク」「国内航空ネットワーク」「現空港の利便性」「空港能力の見極め」「有効活用方策」、それから最後に「PI 関係」というものでございます。

ステップ 2 以降の意見のカテゴリーとしては、具体的三方策それぞれとして、「近隣空港との連携」とか「滑走路増設」「新空港」といったものがございまして、それぞれの数と割合については、そこに表示したとおりでございます。

そういった形で全体を分けまして、その概要をまとめたのが資料 2 の薄いほうですので、また薄いほうに戻りましてご説明したいと思います。

まず 8 ページをご覧いただきますと、上の問 5 について、「福岡空港の現状と課題についてどう思いますか」と聞いたものでございます。これは PI の情報としてどうだったかということですが、けれども、「知りたい情報は概ね提供されている」にチェックされた方が

715名おられました。全体の半分を超えているという状況になっております。

それから問6の「空港能力の見極め」についてお聞きしたところ、715名の方、52.2%ですけれども、「知りたい情報は概ね提供されている」という認識をされたというところでございます。

それから次に(4)の記述意見についてでございますけれども、先ほど言いましたように、全体では1369名の方から用紙を提出していただいておりますが、その中で記述意見を書かれた方と書かれていない方がいらっしやいまして、記述意見を書かれた方が1000名ほどおられます。その分類と大まかな意見の状況を整理したものでございます。

その整理したものが12ページをご覧くださいなのですが、ここで参考1の問5、「福岡空港の現状と課題に寄せられたご意見」ということで、12、13ページが問5に寄せられた意見についての件数整理をしたものでございます。それから14、15ページが問6の「空港能力の見極め」に寄せられた意見について件数整理したものでございます。

それから16、17ページが、「その他のご意見、感想」といったものの件数を整理したものでございます。先ほど申しあげた「知りたい情報は概ね提供されている」といった数字については、それぞれ12ページ、14ページの上のほうに書いてあります。

それからカテゴリ別に分けました現空港の課題に関する意見。12ページをご覧くださいますと、枠の中でカテゴリ別に現空港の課題に関する意見、航空機の運航による周辺地域等への安全に関する意見、それから国際航空ネットワークに関する意見とずっと続いておりますけれども、それぞれの意見の件数を書いております。

それから右の概要という欄には、それぞれのカテゴリの意見をさらに細かく分けまして、例えば航空機の騒音に関する意見については50件あったと。その中で環境対策費が多額であることや、その情報公開を求める意見が20件あったということで、それぞれの内容を意見の意図するところも含めまして整理したものでございます。それがカテゴリごとに続いているというものでございます。

これらの意見を頂戴して整理しておりますので、それらの整理した意見について、我々としてどのような考え方で今後調査を進めていくか、あるいはどういうふう考えているかというのをお示ししたのが10、11ページでございます。当然ながら、すべてのご意見に対して我々の考え方をお示するというのは物理的に不可能でありますし、そこまでの必要性もないと思いますので、主として頂戴しました意見についてのそれぞれの考え方を整理しております。

ざっと見ていきますと、表自体は件数の多いものから順番にあげております。それで問5に対する意見、問6に対する意見、その他の意見というのを、10、11ページにおいては3つ全部を合わせた形で総件数としてあげております。

1つ1つ簡単に見ていきますと、10ページの上から2番目ですけれども、空港能力の見極めに関する意見というのを305件ほど総トータルでいただいております。中身は意見の概要欄をご覧くださいいただければだいたい把握できるんですけれども、例えば定時制とか需給の逼迫による安全性の懸念でありますとか、ピーク時以外の空港能力が活用できないのかといったピーク時以外の利用の可能性を尋ねる意見といったものがございました。

それに対しまして今回のいろんなご意見を見ていきますと、空港能力の評価については、概ね中身についてご理解いただけたというご意見が多かったと記述し、今後、航空需要予

測を踏まえて将来の需要に対する能力が出てきますので、そういったものについての見極めも検討していきたいという我々の考え方を示しております。

それから次ですけれども、福岡空港の有効活用方策に関するご意見が総トータルで 252 件ございました。この中身は、例えば平行誘導路の二重化については早く実現してくれとか、国内や国際のターミナルなどの改良などを求める意見がございました。それらの意見については、考え方としましては現在、整備中の誘導路の直線化について進めていく、あるいは今後、ターミナル施設のあり方等についても検討していきたいといったことを記述しております。

それから 3 番目に、JAL のトラブル等がありましたので当初の予想よりも多かった印象なんですけれども、安全性に関する意見が 251 件ございました。今言いましたように JAL のエンジントラブルの件や過去の事故、市街地の真ん中にある空港であるという意識から、安全性に関する懸念でありますとか不安に関する意見がございまして。これについては、安全面での関心が高いということ踏まえて今後の調査をしっかりと進めていこうということを書いてございます。

次の 11 ページでございます。ここは一番上のところで現空港の課題について、具体的には周辺地域の騒音問題とか建築物の高さ規制といった都市問題、空港用地の問題といったご意見が 203 件ございました。中身については、騒音や生活環境、あるいは環境対策とか借地の費用などといったものについてのご意見等もございました。こういった費用については、現在までも可能な限り公開しており、今後も可能な限り公開していこうということと、今回こういったことに関心が寄せられたことを踏まえて調査を進めていきたいということを書いてございます。

それからその下に今の空港の利便性についての意見として、203 件ございまして、アクセスに対して極めて便利だという高い評価をいただいております。反面、今のターミナルビルの使い勝手が悪いといった意見がございました。今の空港の利便性ですとか、ターミナルビルの一部の混雑などについて、だいたい皆さん同じような認識をいただいているということがわかりました。そういったことを念頭において、今後検討していくことが必要だということをお考えとして整理しております。

それからその下 2 つは、国際・国内ネットワークについてそれぞれ意見を頂戴しまして、東アジアへの期待とか国内幹線、地方路線の充実などといったものがございまして。これらについても、それらの機能を踏まえて検討していくと書いております。

それから数として一番多かったのが、前の 10 ページに戻っていただきまして一番最初の P I に関するご意見ですけれども、これはその他の欄に書いてございましたけれども、数としては 379 件いただいております。

こういった取り組みを評価されるご意見でありますとか、P R をもっとやるべきではないとか、あるいはそもそも偏った情報提供ではないかといったこともございます。P I レポートについても、興味深いとする一方で、わかりにくいという方もいらっしゃいます。そういった意見がいろいろ出てきております。P I については当初の計画どおりですけれども、今後とも透明性を確保しながら、公正に進めていきたいと思っております。

それから最後に 11 ページ下のほうに、ステップ 2 以降に対する意見というのがございます。これは今後の話でございますけれども、全体の 3 分の 1 くらい、1000 件程度がス

テップ2以降のご意見でございました。こういうご意見を参考にしながら、次の調査を進めていきたいと思っております。

以上がご意見の件数的な中身とそれに対する我々の考えを整理したものでございます。大雑把な内容の紹介でございますけれども、資料2の薄いほうの最後のところに、先ほども言いましたけれども、裏表紙を見ていただきますと、返信用ハガキが付いた形になっていまして、今回、パブリック・コメントでこれをお配りした場合に、ご意見があれば、返信用ハガキに書いていただいて投函していただければ、我々が頂戴してまとめていくこととなっております。そういう意味では、これを様々な形で配りながら今回のパブリック・コメントを進めていきたいと思っております。

それから先ほど言いましたけれども、生の意見が全部書いてある厚いほうは全部配るわけにはいきませんので閲覧用として、あるいはホームページでご覧いただくということでお願いしたいと思っております。説明は以上です。

戸田部長:どうもありがとうございました。資料2の説明につきまして、ご意見等ございましたら、お出しいただきたいと思っております。

戸田部長:資料2の厚い方の寄せられたご意見はホームページに全部出るんですよね。

事務局:福岡空港調査連絡調整会議のホームページに掲載されます。

戸田部長:締め切って1ヵ月弱くらい、非常に短い時間で作業は大変だったと思っておりますけれども。

西村理事:膨大な作業になりまして、なかなかカテゴリー分けするのが大変だったということです。

戸田部長:ほかにございませんか。

(発言者なし)

戸田部長:それでは、先ほど資料1と今ほどの資料2にありましたとおりの内容、およびパブリック・コメントを募集するというところでこの場では決定したいと思っております。

今回、ステップ1ということもありましたし、PI自体初めての、私どもはみんなそうだと思いますけれども、みんな初めての経験であったと思うので、いろんな意味で戸惑いがあったり、あとの整理の方法とか、その前に聞き方がどうなのかとか、いろんな反省点もあると思っております。それらを踏まえて、今回の意見募集の中身も踏まえて、今後の調査研究を進めるとともにPIのやり方についても学習しながら進めていく必要があると思っております。大変短い時間で膨大なデータを整理していただきました事務局に敬意を表する次第でございます。

(3) その他

戸田部長:議事の1番目は、資料1と2について結論が出たということにしたいと思いますが、その他というところで何かほかにございますか。

事務局:特にございません。

戸田部長:それでは、以上を持ちまして本日の議事は終了したいと思います。あとは、事務局のほうでお願いします。

(4) 閉会

事務局:どうもありがとうございました。以上を持ちまして、福岡空港調査連絡調整会議幹事会は終了させていただきます。